

音楽、スポーツ、科学が織り込まれた夢枕獭書下ろしによる七夕伝説

Summer Arts Japan 2017

うしかい

“憂飼”

織女と牽牛の恋が星々の乱れをもたらした

地を踏む翁一天地に轟く太鼓の響きが宇宙を滅びから救う

2017年8月6日(日) 15時開演
東京藝術大学 奏楽堂 (大学構内)

主 催：東京藝術大学
共 催：台東区、立命館大学、順天堂大学、一般社団法人アーツ・イノベーション・プロジェクト
協 賛：野村ホールディングス株式会社、パナソニック株式会社
特 別 協 力：ヤマハ株式会社
技 術 協 力：ブラザー工業株式会社
企 画・制 作：東京藝術大学 COI 拠点・東京藝術大学演奏芸術センター
COI アクティブ・フォー・オール拠点 (立命館大学・順天堂大学)



東京藝術大学
130周年
Tokyo University of the Arts
130th Anniversary



Summer Arts Japan 2017

Sports Arts Science (SAS) = スポーツ、芸術、科学の融合が創る新しいステージ。

2016年に第1回を開催した Summer Arts Japan。

今回はヤマハの自動演奏システムとブラザーのエアースカウターが登場します。

「憂飼」あらすじ

登場人物は、天帝、張騫、織女、牽牛、天文博士に摩多羅神。万葉の時代の七夕の物語。

機織りの名手 織女と牽牛が恋をした。

恋する二人は、毎日毎日朝に夜に手紙のやり取りをする。

仕事を忘れて。

ある日、天帝は天の川の星々が乱れていることに気が付く。

二人の恋が宇宙の秩序さえも乱してしまった。

天帝は、二人を天の川の両岸に離れ離れにする。

天の川をはさんで、二人のやりとりがされればされるだけ、

天地が減びに向かって進む。

星々、宇宙の秩序を取り戻すために呼ばれたのが天文博士。

天文博士は星々の乱れを直すために翁を招喚する。

翁が地を踏み、宇宙の秩序を取り戻す・・・。

台本

夢枕 獏

出演者

(織女 / ソプラノ) 小林沙羅

(牽牛 / テノール) 鈴木 准

(天帝 / 天文博士) 天満谷龍生 東京ノーヴィ・レパートリーシアター (張騫 / 摩多羅神) 岡崎弘司 東京ノーヴィ・レパートリーシアター

(和太鼓) 林 英哲

(指揮) 松下 功

(演奏) 東京藝術大学卒業生有志オーケストラ

(フルート独奏) 河合雪子 東京藝術大学

(バドミントン) 沢木正衛・中村嘉代 東京都障害者総合スポーツセンター王子かぼちゃクラブ

坂本哲也・水野はるな 順天堂大学

(童子) 荒木 遼・松下 真・出口真里亜 東京藝術大学

演出

佐藤美晴

衣装デザイン

(織女・牽牛・天帝・張騫・天文博士・摩多羅神)

時広真吾

衣装制作 (林 英哲)

阿部美千代

映像

東京大学 TAO プロジェクト提供

演奏作品

C. ドビュッシー：小組曲 より

松下 功：二重唱「ああ、どうして会えないの」、二重唱「減びが始まる」

小川 類：Tanabata for SAS

C. ドビュッシー：シリンクス

M. ラヴェル：ボレロ

出演者プロフィール



小林沙羅 Sara Kobayashi (ソプラノ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ウィーン及びローマにて研鑽を積む。2017年出光音楽賞受賞。2012年ソフィア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ役で欧州デビュー。同歌劇場『愛の妙薬』プレミエ公演アディーナ役等、国内外で多くのオペラに出演。2015年野田秀樹演出『フィガロの結婚』では全国10都市14公演にスザンナ役で出演し好評を博す。オラトリオのソリストとしても多くのオーケストラと共演。また詩の朗読や日本語の歌唱、新曲初演にも力を入れている。



鈴木 准 Jun Suzuki (テノール)

東京藝術大学大学院博士課程にて博士学位取得。『魔笛』タミーノでは東京二期会、新国立劇場、日生劇場、兵庫県立芸術文化センターなど数多くに出演。他に『カーリユー・リヴァー』狂女、『沈黙』モキチ、『夕鶴』与ひょう、『セビリヤの理髪師』伯爵、『後宮からの逃走』ベルモンテ、『死の都』パウル、『金閣寺』柏木など。宗教曲、コンサートではJ.S. バッハ『マタイ受難曲』福音史家、ヘンデル『メサイア』、松本隆訳詞『冬の旅』など。二期会会員。

東京ノーヴイ・レパートリーシアター Tokyo Novyi Repertory Theater

2004年にロシア功労芸術家・演出家レオニード・アニシモフ氏を芸術監督として迎え、レパートリーシアターを開始。「魂の糧となる生きた演劇芸術」を生み出すことを目標に、ロシアの演劇理論スタニスラフスキー・システムによる俳優訓練とレパートリーシステムによる連続公演を実践。近代古典作品によるレパートリーは、チャーホフ・近松門左衛門・宮沢賢治ほか15作品になる。そのほか芸術家を育成する『東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー』の開校や国際シンポジウムなど演劇・芸術・文化が身近なものになるよう、社会に開かれた創造活動を目指している。NOVYI (ノーヴイ)とはロシア語で「新しい」の意。

次回公演は2017年11月29日(水)18時開演
会場：渋谷区文化総合センター大和田・さくらホールにて
M・ゴーリキー作「どん底」/演出：L・アニシモフ
詳細は『ノーヴイ』検索！ <http://www.tokyo-novyi.com>



林 英哲 Eitetsu Hayashi (和太鼓)

1984年初の和太鼓ソリストとしてカーネギー・ホールにデビュー。2000年ドイツ・ワルトビューネで松下功の『飛天遊』をベルリン・フィルと共演、2万人を超える聴衆を圧倒させた。和太鼓を日本そして世界に知らしめた第一人者。今年がソロ活動35周年を迎え、10月13日サントリーホールでメモリアルコンサート開催。同時に「あしたの太鼓打ち」新装改訂版発売予定。2001年日本伝統文化振興賞、2017年松尾芸能賞大賞受賞。



夢枕 獏 Baku Yumemakura

1951年、神奈川県生まれ。東海大学文学部日本文学科卒。日本SF大賞、柴田錬三郎賞、泉鏡花文学賞、舟橋聖一文学賞、吉川英治文学賞を受賞。2016年に作＝夢枕 獏 絵＝山村浩二『ちいさなおおきなぎ』で第65回小学館児童出版文化賞を受賞。映画化された作品に「陰陽師」「陰陽師II」「大帝の剣」「エヴェレスト 神々の山嶺」等。2018年に『空海 KU-KAI』公開予定。

ヤマハのテクノロジー

本公演では、ヤマハの研究開発部門が今回特別に用意した、未来のテクノロジーが3つ使われています。

1. 動作から音楽を生み出す

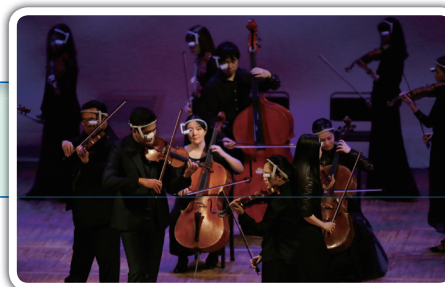
バドミントン選手に取り付けたセンサーが筋肉の動きと体の動きを総合的に検出し、これらの動きをもとに、ヤマハが現在研究に取り組んでいる「AIピアニスト」が自動演奏ピアノ Disklavier™ を即興演奏します。筋肉の動きの検出には立命館大学のスマートウェアを、体の動きの検出には市販の9軸モーションセンサーを使っています。バドミントン選手が自分の生み出す音楽フレーズを楽しみながら打ち合っている様子や、打ち方によって様々にフレーズが変化の様子をご覧ください。

2. デバイスに最適な楽譜を表示する

IT技術の発達により、紙で楽譜を見るという世界が変わりつつあります。本日の最後の曲では、ステージ上にブラザー工業(株)製のエアースカウターをつけた奏者が30名、さらにオケピットにはタブレット端末を譜面台に置いた奏者が十数名。彼らは全員電子楽譜を見て演奏します。ヤマハが開発中の「電子楽譜システム」により、それぞれの端末で見やすいレイアウトの楽譜を表示し、曲の進行にあわせて自動的に小節が進む仕組みを実現しています。譜めくりから解放された楽譜の世界、そして譜面台から解放されたステージ上の奏者の様子をご覧ください。

3. スネアドラムを自動で演奏する

ラヴェルの「ボレロ」といえば、曲の最初から最後までずっと同じリズムを刻んでいるスネアドラムが印象的です。今回その演奏を人間に代わって行うのが、2台の「自動演奏スネア」です。ヤマハが現在研究に取り組んでいるこの自動演奏スネアは、プロ打楽器奏者が演奏する際の筋肉の使い方にヒントを得て試作したもので、良い音でスネアドラムを叩くための工夫が施されています。弱い音から強い音まで幅広い音量変化を生み出しつつ、指揮者としての役割も担っている様子をご覧ください。



ブラザー工業のテクノロジー エアースカウター

必要な映像情報を利用者の視野に映し出す「AiRScouter WD-200A」。視野の中に、ヘッドマウントディスプレイの映像情報を加えることにより、ワークスタイルの革新に寄与致します。

既に製造業では、「AiRScouter WD-200A」を工員に装着させ、製造マニュアルの必要なページの映像情報を提供する情報端末として導入している企業も顕在化。業務の品質や精度の向上に貢献しています。

「AiRScouter WD-200A」は高品質な液晶パネルを搭載し、独自の光学設計で明るくてシャープな720Pの高解像を実現。また映し出す映像の奥行きを30cmから5mまで自在に焦点を合わせることができ、様々な姿勢に対応できるフレキシブルアームの採用で、どなたにも快適にお使いいただけます。

ブラザー工業は、「AiRScouter WD-200A」の可能性を製造作業サポート以外にも広げるべく、2017年より東京藝術大学と連携をスタート。譜面台にしばられ、座っての演奏が基本となるオーケストラに「AiRScouter WD-200A」を提供し、各演奏パートの楽譜をWi-Fiを介して演奏者に送付することで、自由に動けるオーケストラの実現に寄与。音を表現するオーケストラから視覚的な表現も行うオーケストラへの進化に貢献しております。

スマートウェア

立命館大学と順天堂大学が共同で進める「運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点」(文部科学省『革新的イノベーション創出プログラム』)では、「着るだけ」で人の身体の状態を計測することができるスマートウェアを開発しています。

